

交付申請書記入用計算シート（平成30年度）

【補助対象期間 1事業年度の基準日数:234日】

交付申請書(様式第1)の「補助対象経費」「補助金申請額」に記載する金額は、下記により算出した、その結果をそれぞれの欄に転記する。 ※作成要領4.(1)を参照

下記項目の 部分に入力。 があるものは、該当数字を選択

「補助対象経費」として計上できるのは、以下の式で計算される金額 Y(円)

$$Y = X \times (1 - A / (B \times C))$$

| | |
|------------------------|------------|
| X (円) | 35,000,000 |
| A (Nm ³) | 24,000.00 |
| B (Nm ³ /h) | 300 |
| C (h) | 1,920.00 |

小規模 50 または 100
中規模 300 を選択

Y 補助対象経費 (円) 33,541,666 一円未満を切り捨て

上記 Y の金額の2/3(円) ① 22,361,110 一円未満を切り捨て

| | |
|---------------------------|------------|
| D (円) [1事業年度あたりの補助上限額] | 22,000,000 |
| E (日) [商用運用日数(予定)] | 240 |

下記以外 22,000,000 を選択
小規模:50 16,000,000
移動式:運用場所2箇所
26,000,000 を選択

Z 商用運用日数による補助上限額(円) 22,000,000 一円未満を切り捨て

Z = D × E / 234 1事業年度あたりの補助上限額(D(円))を上限とする

補助上限額(円) ② 22,000,000 1事業年度あたりの補助上限額(D(円))と Z:商用運用日数による補助上限額を比べて低い金額とする

補助金申請額(円) 22,000,000 ①と②の低い金額

X 補助対象経費の総額「様式細4-1 補助対象経費積算書(税抜)」を記入

A 補助対象期間中の水素供給設備から燃料電池自動車への予測される総水素充填量 [小数点以下第2位を四捨五入した値を記入]

B 申請する水素供給設備の供給能力をプルダウンメニューから選択
ただし、中規模は300、100Nm³/h以上の小規模は100、100Nm³/h未満の小規模は50とする

C 補助対象期間中の計画される総営業時間
移動式の営業時間には、移動時間、移動前の設備点検時間、当該設備への水素充填時間も含む
(小数点以下第2位を四捨五入した値を記入)

Y 交付申請書/補助対象経費に転記する金額 (一円未満を切り捨て)
※計算結果がマイナスの場合は、“Err” が、表示されます。

① Y 補助対象経費の2/3(一円未満を切り捨て)

D 1事業年度あたりの補助上限額をプルダウンメニューから選択
交付申請書上限額表(交付規程 別表2)を参照

E 補助対象期間中の商用運用日数(予定)を記入

Z 補助対象期間中の商用運用日数による補助上限額を計算
ただし、1事業年度あたりの補助上限額[D(円)]を上限とする

② 1事業年度あたりの補助上限額と補助対象期間中の商用運用日数(予定)から算出される“Z”を比べた低い金額

※ 交付申請書の補助金申請額に転記する金額
Y 補助対象経費の3分の2 ①と新規需要創出活動に使用する水素供給設備の供給方式に応じた補助上限額 ②を比べた低い金額